

No.17-160 講習会
安全評価・認証の実務者が語る『機械安全と第三者評価・認証』

協賛(予定) 安全工学会, 安全工学研究所, エンジニアリング協会, 化学工学会,
 軟包装衛生協議会, 日本機械工業連合会, 日本鍛圧機械工業会, 日本金属プレス
 工業協会, 日本高圧力技術協会, 日本工作機械工業会, 日本食品機械工業会,
 日本信頼性学会, 日本製パン製菓機械工業会, 日本非破壊検査協会, 日本プラ
 トメンテナンス協会, 日本包装技術協会, 農業食料工学会, 腐食防食学会

開催日: 2018年2月9日(金曜日) 10:00~17:00

会場: 品川区中小企業センター 大会議室 〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目28-3
 東急大井町線下神明駅徒歩2分
 JR線・東急線・りんかい線大井町駅徒歩10分

主旨: リスクを受け入れ可能なレベルに低減させた機械を設計・製造することは機械メーカーの責務である。このために機械安全の安全要求の標準化が進められており、わが国でも日本工業規格(JIS)として発行されている。規格の要求に沿って機械が設計・生産されているかを客観的に確かめる方法として、第三者による評価制度があり、欧米では長年の実績がある。しかしながら、わが国では製造者による評価(第一者評価)及びユーザによる評価(第二者評価)に比べ、第三者評価が浸透していないのが実情である。
 当講習会では、機械安全と第三者評価・認証の必要性とその意義及び第三者評価・認証を行う際に問題となる点を第三者評価・認証実務者により事例を交えて解説を行う。

司会: ATOMS:機械安全実践技術促進会 畑 幸男

演題:

1. 機械安全・機能安全規格の最新動向と機械エンジニアのための機能安全事例		
午前開演		10:00~10:05
1) 安全規格動向 機械安全・機能安全の最新動向	機械安全の国際規格エキスパートによる機械設計に関連する機械安全・制御安全・機能安全の最近の動向について分かり易く解説する。	10:05~10:55 デュフラインランド 杉田 吉広
2) 機械エンジニアのための機能安全入門	欧州機械指令ではパフォーマンスレベル(PL)の表示が2012年から義務付けされ、機能安全の理解無しにはPLへの対応が難しくなっている。CEマーキングを始めとする国際安全規格対応の要点を解説し、午後の講習「第三者評価の実務例」の導入編として最適な内容となっている。	11:00~11:50 富士電機 戸枝 毅
2. 第三者評価の実務例		
午後開演		13:00~13:05
1) ケース1: 機械安全	第三者評価や認証の申請に関するご相談事例や申請範囲や使用条件の捉え方の注意点、および、申請範囲や使用条件の違いが生じる適合性評価の違いについて事例を交えてご説明いたします。	13:05~13:55 ビューロベリタ ス 染谷美枝
2) ケース2: 機能安全	現状分析として、機能安全を導入する機械メーカー、製造販売するコンポーネント・メーカー、それぞれの導入形態について機械指令・整合規格を題材に理解する。2005年以降のIEC/EN 60204-1の変遷から始まった機能安全の積極導入とその背景について説明する。	14:00~14:50 デュフズード ジャパン 松前 貴志
休憩		14:50~15:05
3) ケース3: 電気安全	国内で使用実績のある電気・電子機器が初めてのCEマーク対応または国外出荷対応時の典型的な指摘事例と対策事例を紹介いたします。実際の事例を照会しながら国外向けに安全に関わる電気・電子設計コンセプトを解説します。	15:05~15:55 デュフラインランド フエンテス・アド リヤン
4) ケース4: 北米安全(予定)	特に米国(カナダ)における機械・電気安全と第三者評価・認証について説明します。	15:50~16:50 UL ジャパン 今村 康敬
質疑応答及びディスカッション		16:50~17:00

※事情により演題が変更となる場合もございます。予めご了承下さい。

定員: 80名(定員になり次第締め切ります)